

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

# 2024年3月期 第1四半期 連結決算の概要

---

2023年8月7日

## 連結：増収減益

売上高 14,600百万円(+318百万円)  
営業利益 △111百万円(△7百万円)

- 売上： 国内は前期に医療機関の設備投資再開による需要拡大が一巡した血液透析装置の減少により微減となるも、海外は新型コロナの影響からの需要回復により血液・細胞領域が大幅伸長し、連結増収を牽引
- 利益： 増収効果はあるものの、原材料費や電力費等の高騰影響に加え、研究開発費や販売費の増加もあり減益

## システム別売上高

- 血液・細胞： 需要回復により海外主力の成分献血用回路や血液バッグが大幅伸長
- 透 析： 国内で血液透析装置が減少したほか、北米向けAVF針（血液透析用針）の減少で減収

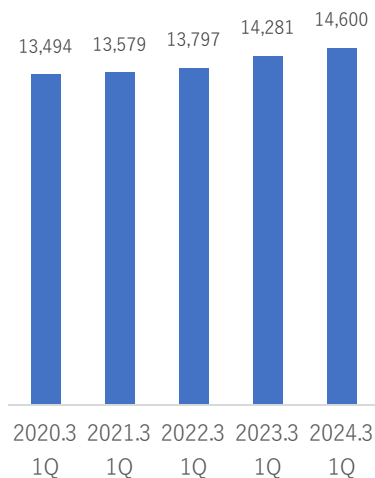
## 地域別売上高

- アジア： 血液バッグの増加に加え、中国で血液透析装置やAVF針が増加
- 日 本： 薬剤調製・投与クローズドシステムや白血球除去フィルター付き血液バッグが増加するも、需要拡大が一巡した血液透析装置の減少により減収

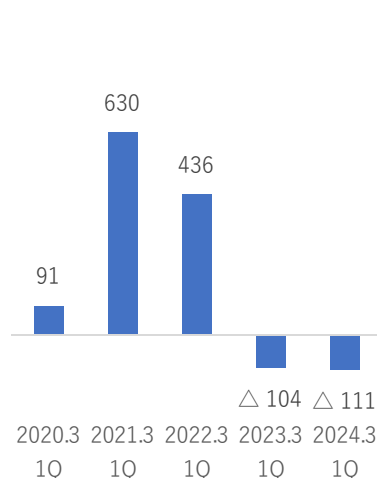
(単位：百万円)

	2023年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	増減額	増減率
売上高	14,281	14,600	318	2.2%
営業利益	△104	△111	△7	—
経常利益	△78	△73	4	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△36	△260	△223	—

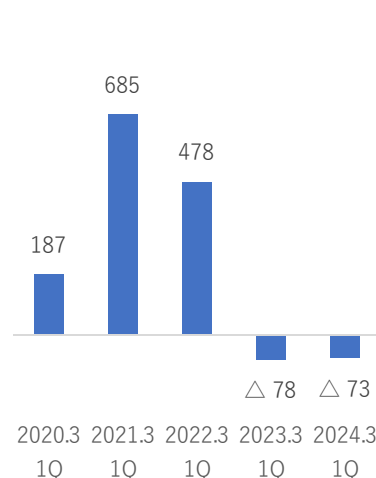
売上高



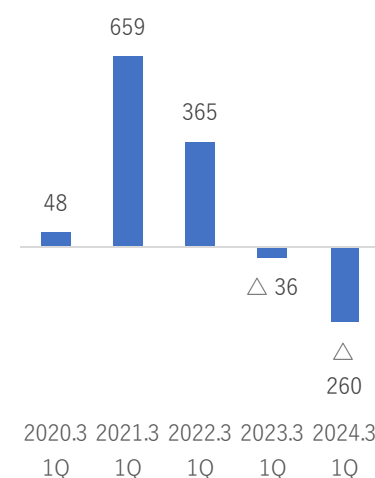
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する  
四半期純利益



# セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

- 日本： 国内の血液透析装置の減少により減収、利益は原材料費や電力費の高騰影響を受けるも、薬剤調製・投与クローズドシステムなど高利益品の伸長により経常損失は縮小
- シンガポール： 海外需要の回復により成分献血用回路や血液バッグの増加で増収、増収効果はあるものの、原材料費の高騰や需要回復に備えた労務費の増加もあり減益

(単位：百万円)

		2023年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	増減額	増減率
日本	売上高	10,077	9,887	△ 189	△1.9%
	利益	△ 175	△ 64	111	—
シンガポール※	売上高	4,577	5,030	452	9.9%
	利益	57	△ 59	△ 116	—
中国	売上高	940	969	29	3.1%
	利益	38	△ 4	△ 43	—
フィリピン	売上高	773	899	126	16.3%
	利益	59	14	△ 45	△75.9%
ドイツ	売上高	879	1,058	178	20.3%
	利益	37	132	94	248.9%
その他※	売上高	1,249	1,016	△ 232	△18.6%
	利益	△ 18	10	28	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

## 輸液・栄養領域



薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移したものの、医療用手袋や栄養セットの減少により微増



売上高

## 透析領域



国内は需要拡大が一巡した血液透析装置が減少したほか、北米向けAVF針が減少



売上高

## 外科治療領域



血液濃縮器が増加したものの、電子部品の入荷遅延に伴う急性血液浄化装置の生産調整もあり微増



売上高

## 血液・細胞領域



海外需要回復により、成分献血用回路や血液バッグが増加

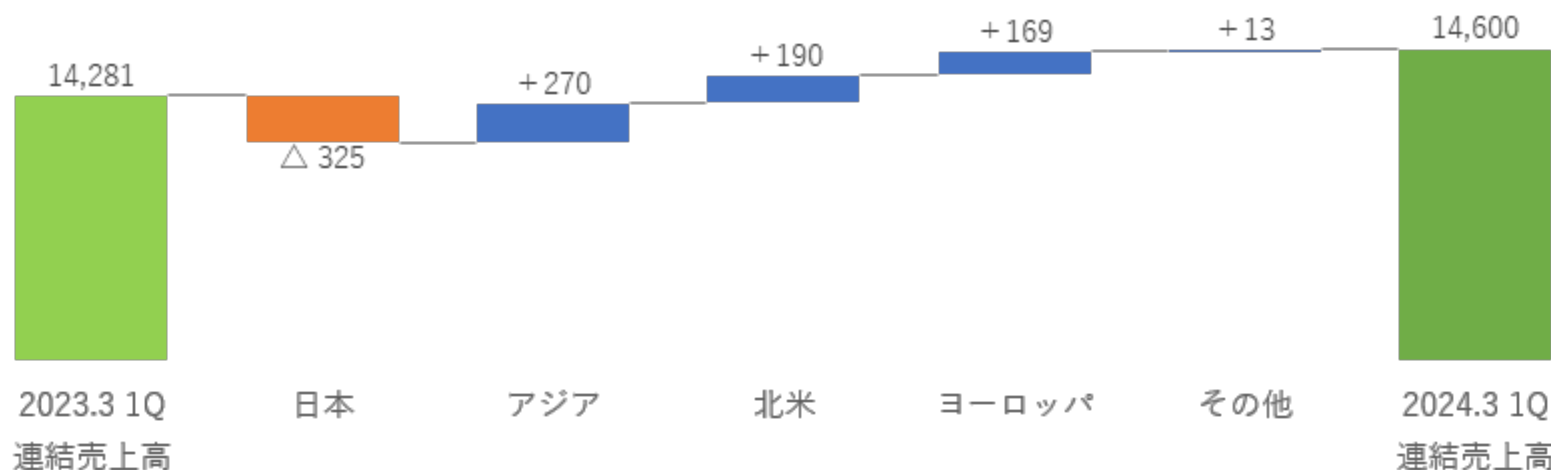


売上高

日本は血液透析装置の減少により減収となるも、海外需要の回復による成分献血用回路、血液バッグ、血液透析装置等の増加により海外各地域で増収

(単位：百万円)

	2023年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	9,173	8,848	△ 325	△ 3.5%	60.6%
アジア	2,026	2,296	270	13.3%	15.7%
北米	1,525	1,716	190	12.5%	11.8%
ヨーロッパ	1,305	1,474	169	13.0%	10.1%
その他	250	264	13	5.6%	1.8%

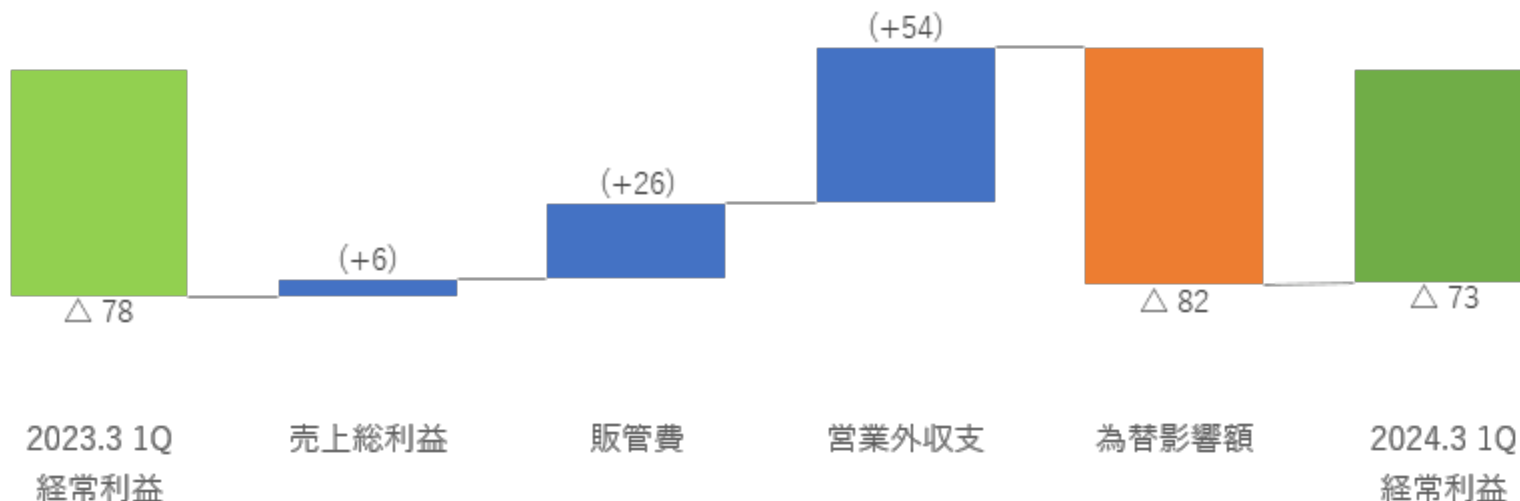


# 経常利益増減要因

増収効果はあるものの、原材料費や電力費の高騰影響に加え、需要回復に備えた労務費の増加で売上総利益は微増に止まる。研究開発費や販売活動に関する費用が増加、営業外では持分法による投資損失が減少、為替変動は利益不利に作用

(単位：百万円)

※ ( ) は為替の影響を除く



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2023年 3月期 1Q	129.57 円	130.39 円	94.09 円
2024年 3月期 1Q	137.37 円	142.10 円	102.54 円

業績予想については、2023年5月12日公表時から変更しておりません

(単位：百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	63,740	67,000	5.1%
営業利益	724	1,000	37.9%
経常利益	586	1,100	87.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	281	800	184.7%

※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、  
1米ドル=130円、1ユーロ=140円、1シンガポールドル=98円としております。

- 売上：** 国内外の需要は回復基調にあり、海外主力の成分献血用回路や血液バッグを中心に、着実な需要の取込みで引き続き増収を見込む
- 利益：** 原材料費や電力費など物価高騰の影響は引き続き受けるも、主力品の増収効果に加え、更なる原価低減や販売価格など取引条件の見直しにより利益回復を見込む



## 2023年5月

### 大研医器(株)との抗がん薬治療に関する事業提携

JMSと大研医器は両社の技術を融合させた、抗がん薬の曝露リスク低減を目的とした新たなソリューション提供を目指しています。共同プロジェクトを立ち上げ、製品仕様を検討するための市場調査を行い、化学療法システムの開発を進めています。

※クーデック、エイミーは大研医器株式会社の登録商標です。



大研医器の「クーデックエイミーPCA」



JMSの閉鎖式薬剤移注システム「ネオシールド」

## 2023年7月

### 中国・血液フィルターメーカーの買収

子会社のJMSシンガポールにおいて、中国で白血球除去フィルターの開発・製造・販売を行う事業会社を旭化成メディカル(株)から譲受けました。血液バッグとの一体的な事業運営でシナジーを働かせ、血液事業の収益拡大を図ります。



シンガポールで製造している  
白血球除去フィルター付き血液バッグ



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。